

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

|         |                     |            |            |
|---------|---------------------|------------|------------|
| 事業所番号   | 4676300173          |            |            |
| 法人名     | 有限会社 すりい            |            |            |
| 事業所名    | グループホーム ふれあい館       |            |            |
| 所在地     | 鹿児島県曾於市大隅町月野3486番地6 |            |            |
| 自己評価作成日 | 平成25年2月1日           | 評価結果市町村受理日 | 平成25年6月12日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |                           |
|----------|---------------------------|
| 基本情報リンク先 | <a href="#">県ホームページより</a> |
|----------|---------------------------|

【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                        |
|-------|------------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 社会保障制度活用支援協会 |
| 所在地   | 鹿児島県鹿児島市城山一丁目16番7号     |
| 訪問調査日 | 平成25年2月27日             |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・基本理念を常に心がけ、「生活の主人公は利用者」であり、共に生活をしている仲間(家族同様)であることを大切に、利用者の気持ちに寄り添いながら支援をしています。  
 ・チームケアの実践に力を入れており、「信頼」「協力」「理解」を念頭に、職員一丸で「認知症介護のプロ」を目指して努力をしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

63号線沿いの八合原台地の中にあり、茶畑、牧草、さつま芋が植え付けされ、施設からは山々がながめられ自然を体で感じながら四季がゆっくり流れている施設である。  
 管理者と職員とも意見や要望、相談をしやすい環境であり、職員も利用者も表情豊かで一緒に生活している雰囲気自然に生まれているグループホームでグループホーム間の交流や症例検討、職場内、外の研修に参加し、介護知識や技術向上に努めているグループホームである。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 |  | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印   | 項目 | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印   |
|----|--|---|----|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)       | ○ 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいの<br>3. 利用者の1/3くらいの<br>4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています<br>(参考項目:9,10,19)  |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)             | ○ 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                  | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                   | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)    | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 66 | 職員は、活き活きと働けている<br>(参考項目:11,12)                                      |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                  | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)         | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   |
| 62 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている<br>(参考項目:28) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |    |   |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己評価              | 外部  | 項目  | 外部評価   |   |   |
|-------------------|-----|---|--|---|---|
|                   |     |   | 自己評価<br>実践状況   | 実践状況<br>次のステップに向けて期待したい内容   |   |
| <b>I.理念に基づく運営</b> |     |   |  |   |   |
| 1                 | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている  | 基本理念をわかりやすい言葉に置き換え、掲示している。また、日々のミーティングなどで確認し、共有しながら支援に取り組んでいる。                       | 毎朝のミーティングで理念の実践の確認を行い、具体的なケアについて、意見の統一を図り、その人らしくを大切にしている。                                   |   |
| 2                 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している  | 地域の会合や交流会など、地域の一人として積極的に参加をしている。   | 小学校との交流、保育園の運動会、地域行事などに積極的に参加している。又、散歩や買い物等で地域の人たちと挨拶をしたり、話をしたりしている。小学校へ認知症について出前講話も行なっている。 |   |
| 3                 |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている  | 認知症キャラバンメイト講習を受けたスタッフもおり、地域の相談等にも応じている。  |   |   |
| 4                 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている                                     | 定期的に運営推進会議も開催をし、推進委員の方々とも積極的に意見交換もおこなっている。また、頂いた意見などにも迅速に対応するように努めている。               | 行政、地域、家族代表、施設職員が加わり、定期的に開催され、施設内の状況、行事計画、意見交換が行なわれ、行政から情報、家族より意見を頂き、職員の意識向上やサービス向上に取り組んでいる  |   |
| 5                 | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる   | 行政担当者と定期的な会合も行い、日頃から意見交換等も行っている。   | 地域包括センター主催の定期的な勉強会があり、参加している。市とは、困りごとの相談や情報収集で連携を図っており、又、管理者は福祉相談員として出席するなど協力体制が取られている。     |   |
| 6                 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束に関するマニュアルも作成し、日頃より徹底して伝える努力をしている。また、目に見える拘束だけでなく、言葉、態度などについても、日頃から意識した取り組みをしている。 | スタッフは、ミーティングや申し送りの中で、目に見える拘束だけでなく、言葉や態度などについても意識しているが研修の実施記録が無い。                            | 「指定基準において禁止となる具体的な行為」を正しく理解し、勉強会を実施され職員の共有意識が図られるよう希望します。 |
| 7                 |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている                                     | 虐待に関するマニュアルを作成し、日頃から全職員で意識した取り組みをしている。   |   |   |

| 自己 | 外部  | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|----|-----|--|--|---|-------------------|
|    |     |  | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 人権擁護に関する研修参加など、積極的に促している。また、状況等に応じて地域包括支援センターや福祉事務所等に相談、助言を頂きながら、対応をするように努めている。  |   |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 文章と口頭で十分に説明を行い、利用者の思いも含め、ご家族の理解を得ている。  |   |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | 日頃から、入所者やご家族が思いや意見を自由に言えるような関係作りに努めている。また、意見や要望等はミーティング時など職員へ伝え、改善に取り組むように努めている。 | 面会時や電話で意見や要望を聞いている。又、施設行事時や家族会を利用して、何でも言いやすい雰囲気づくりに努めその機会としている。出た要望等は全スタッフでミーティングで話し合い、反映されている。 |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 日頃から職員の意見や提案をくみ取る関係作りに努めている。   | ミーティングや勉強会のあとに、要望や意見を聞くようにしている。又、日頃からコミュニケーションを図るよう心がけ、問いかけたり、聞き出ししたりしている。                      |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 職員の要望等も含め、柔軟に対応するように努めている。   |   |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 研修参加なども積極的に支援している。また、資格取得など、ケア向上に活かせるように支援をしている。                                 |   |                   |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 地域や行政等で開催される研修会や勉強会など積極的に参加を促し、交流に努めている。   |   |                   |

| 自己                          | 外部  | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|-----------------------------|-----|--|---|--|-------------------|
|                             |     |  | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |  |   |  |                   |
| 15                          |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 相談の段階から、本人との関係を築けるように努めている。                               |  |                   |
| 16                          |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | 相談の段階から、家族との関係を築けるように努めている。                               |  |                   |
| 17                          |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | 相談を受けた時点で入所を優先とせず、本人の現状を確認し、「今、何が必要か」を見極めた対応に努めている。       |  |                   |
| 18                          |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | 職員は「生活を共にする仲間」の思いを持ちながら、「頼り、頼られる」関係を大切に支援を行っている。          |  |                   |
| 19                          |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | 職員は家族の思いを受け止めながら、家族と共に利用者の生活を考えるように努めている。                 |  |                   |
| 20                          | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | 利用者馴染みの関係性を理解し、本人の望む支援を可能な限りおこなっている。(自宅訪問や自治会への参加、お墓参りなど) | 昔から利用している、美容室や薬局へ出かけて楽しく会話をされている利用者がある。入居者の住んでいる地域の花見やお月見会に出かけ、継続的な交流ができるように働きかけている。 |                   |
| 21                          |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                 | 一人ひとりの個性を見極め、利用者同士の関係作りにも努めている。                           |  |                   |

| 自己                                 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|------------------------------------|------|--|--|---|-------------------|
|                                    |      |  | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | 長期入院等でサービス利用(契約)が終了しても、本人や家族の必要に応じて、支援を継続するように努めている。                             |   |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |  |   |                   |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 日頃から会話や行動の中から、一人ひとりの思いや意向をくみ取る努力をしている。また、職員間でも情報を共有しながら把握に努めている。                 | 日々のかかわりの中で声を掛け、把握に努めている。言葉や表情などから、それとなく確認したり、ご家族から情報を得るようにしている。                 |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 得られた個人情報だけでなく、日々の暮らしの中で、「その人らしさ」を生かせるように取り組んでいる。                                 |   |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 日頃から一人ひとりの生活を把握しながら、本人が望む生活が過ごすことが出来るように努めている。                                   |   |                   |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 日々の生活の中で、本人、ご家族の思いを汲み取りながら、介護計画を作成している。毎月モニタリングをして、状態の変化等に応じての見直しなども速やかにおこなっている。 | スタッフの意見を聞き取りを行い毎月モニタリング、カンファレンスを行なっている。ご本人や家族には、日々のかかわりの中で思いや意見を聞き反映させるようにしている。 |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 個別記録や業務日誌だけでなく、毎朝の全体申し送り時に気づきや話し合いなどを実践や介護計画に活かしている。                             |   |                   |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | 一人ひとりのニーズに対し、柔軟且つ最大限に取り組むように努めている。   |   |                   |

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価   |  |
|----|------|---|--|--|--|
|    |      |   | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容                                    |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | 本人の意向を取り入れながら、関係機関等と協力しながら、取り組んでいる。  |  |  |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                 | 協力医療機関との連携を図り、本人、家族の要望に柔軟に対応するように努めている。  | 本人や家族の希望する、かかりつけ医となっている。必要に応じて受診の付き添いや家族とも同行し、普段の様子や変化を伝えるようにしている。 |  |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 協力医療機関との連携を取りながら、医療面、健康面も相談も日頃よりおこなっている。   |  |  |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 医療機関と連携を図りながら、その時に応じた支援をおこなっている。   |  |  |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | 入所の段階より重度化、終末期について家族や利用者の思いを踏まえて話し合いをおこなっている。また、日頃よりご家族とも、状態変化時の対応等についても話し合うようにしている。 | 基本的には、看取りは行っていないが、職員の力量や体制が整えば、本人や家族の意向を踏まえ検討中である。                 |  |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | 年一回、救急蘇生法の訓練をおこなっている。  |  |  |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている  | 年二回、防災避難訓練を実施している。また、災害等に備え、備蓄品の確保をしている。   | 年2回の防災、避難訓練が実施されている。スプリンクラーが設置され、備蓄品もそろえ災害対策に取り組んでいる。              | 火災、地震、風水害など具体的な想定をし、確実な避難誘導ができるように、年間を通じた自主訓練を希望します。 |

| 自己                               | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|----------------------------------|------|--|--|---|-------------------|
|                                  |      |  | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |  |  |   |                   |
| 36                               | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                   | 常に、利用者一人ひとりの人格を尊重し、プライバシー確保にも努めている。  | 朝のミーティングで人格を尊重し、羞恥心に配慮した個々のプライバシーを損ねないような言葉かけや対応に日々努めている。   |                   |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | 日頃より、入所者が思いや希望を表しやすい雰囲気大切に、声かけや支援をおこなっている。   |   |                   |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 日々の日課はなく利用者、一人ひとりが「自分らしさ」を大切にできる声かけや支援に努めている。  |   |                   |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 本人の意向を取り入れながら、おしゃれや身だしなみを支援している。理容においても、馴染みの理髪店を利用したり、地元理容店へ訪問理容を依頼している。希望があれば、スタッフが理容や白髪染めをおこなっている。 |   |                   |
| 40                               | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | 生活を楽しむひとつとして、食材の下ごしらえなど無理なく楽しみながら行えるように努めている。また、「頼り、頼られる」関係を大切に声かけや支援をしている。                          | 野菜の下ごしらえ、茶碗洗い、行事食(おせち、七草がゆ、誕生日、桃の節句、恵方巻き、クリスマス、彼岸のおはぎ)等を一緒に手伝ってもらっている。又、春の遠足に弁当を持って出かけるなど、食欲を高めたり、食事への関心を引き起こす為の工夫がされている。 |                   |
| 41                               |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | 食事チェック表をもとに、一人ひとりの食事の状態を把握して支援をおこなっている。  |   |                   |
| 42                               |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                   | 口腔チェック表をもとに、一人ひとりの口腔の状態を把握して、支援をおこなっている。   |   |                   |

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|----|------|--|--|--|-------------------|
|    |      |  | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                             | 排泄チェック表で一人ひとりの排泄の状態を把握し、支援をおこなっている。                                      | 排泄パターンを把握し、個々の排泄状況に合わせ、声かけや誘導、見守りを行なっている。又、尿とりパット等は本人に合わせ選択し、自立支援に取り組んでいる。 |                   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる   | 排泄チェック表にて一人ひとりの排便の状況を把握して支援をおこなっている。また、毎朝、ラジオ体操も行い、適度な運動にも心がけている。        |  |                   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている                       | 入浴日を決めておらず、一人ひとりの希望に応じて支援をしている。  | 利用者の希望に合わせて週2~3回入浴を楽しんでいる。入浴を拒む利用者には、タイミングをみて、声を掛け入浴をしてもらっている。             |                   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している  | 一人ひとりの就寝のリズムに合わせて、支援をおこなっている。  |  |                   |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている   | 内服ファイルを作成し、一人ひとりの内服状況を確認している。服薬確認の為、チェック表を活用し、変更などあった場合も、その都度報告、確認をしている。 |  |                   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                            | 日々の生活の中で、「本人らしさ」を引き出せるような声かけや支援に努めている。                                   |  |                   |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している | 一人ひとりの要望を汲み取りながら、外出の支援をおこなっている。また、家族や本人の希望があれば、冠婚葬祭等の付き添い支援もおこなっている。     | ベランダでの外気浴を楽しんだり姉妹の施設へ面会に行く利用者がある。買い物やドライブ散歩など職員の付添いにて日常的な外出支援が行なわれている。     |                   |



| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|----|------|--|---|--|-------------------|
|    |      |  | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 一人ひとりの要望に応じて支援をおこなっている。また、家族の要望などがある場合、事務所や職員で管理をおこなっている。 |  |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | 家族や知人等との連絡など歓迎し、連絡しやすい雰囲気づくりに努めている。                       |  |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 季節に応じた品物(花・小物等)を取り入れる等、居心地よく過ごせる工夫を行っている                  | フロアの飾りつけやテーブルの配置など、懐かしい調度品を置き入居者の休息と衣食住および余暇等の生活の時間と空間を一体化させ、柔らかな刺激のやすらぎやくつろぎの場面を日常的に工夫している。 |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | 一人で過ごせる場所や、喫煙場所等思い思いに過ごせる空間作りに努めている。                      |  |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | 本人が、居心地よく過ごす事ができるように工夫(家具の配置、掲示物等)を行っている。                 | ベッドの使用が多いが、希望により畳の交換も可能である。利用者の居心地のよさに配慮した、写真や枕、棚、仏壇、位牌等が持ち込まれ、個々にあった部屋づくりがされている。            |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | 一人ひとりが、「自分のできること」を生活に活かせるように努めている。                        |  |                   |

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| No.                | 外部  | 項目  | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|--------------------|-----|---|--|------|-------------------|
|                    |     |   | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |     |   |  |      |                   |
| 1                  | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている  | 基本理念をわかりやすい言葉に置き換え、掲示している。また、日々のミーティングなどで確認し、共有しながら支援に取り組んでいる。                       |      |                   |
| 2                  | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している  | 地域の会合や交流会など、地域の一員として積極的に参加をしている。   |      |                   |
| 3                  |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている  | 認知症キャラバンメイト講習を受けたスタッフもあり、地域の相談等にも応じている。  |      |                   |
| 4                  | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている                                     | 定期的に運営推進会議も開催をし、推進委員の方々とも積極的に意見交換もおこなっている。また、頂いた意見などにも迅速に対応するように努めている。               |      |                   |
| 5                  | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる  | 行政担当者と定期的な会合も行い、日頃から意見交換等も行っている。   |      |                   |
| 6                  | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束に関するマニュアルも作成し、日頃より徹底して伝える努力をしている。また、目に見える拘束だけでなく、言葉、態度などについても、日頃から意識した取り組みをしている。 |      |                   |
| 7                  |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている                                     | 虐待に関するマニュアルを作成し、日頃から全職員で意識した取り組みをしている。   |      |                   |

| 項目 | 外部  | 項目   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|----|-----|--|--|------|-------------------|
|    |     |  | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 人権擁護に関する研修参加など、積極的に促している。また、状況等に応じて地域包括支援センターや福祉事務所等に相談、助言を頂きながら、対応をするように努めている。  |      |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 文章と口頭で十分に説明を行い、利用者の思いも含め、ご家族の理解を得ている。  |      |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | 日頃から、入所者やご家族が思いや意見を自由に言えるような関係作りに努めている。また、意見や要望等はミーティング時など職員へ伝え、改善に取り組むように努めている。 |      |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 日頃から職員の意見や提案をくみ取る関係作りに努めている。   |      |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 職員の要望等も含め、柔軟に対応するように努めている。   |      |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 研修参加なども積極的に支援している。また、資格取得など、ケア向上に活かせるように支援をしている。                                 |      |                   |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 地域や行政等で開催される研修会や勉強会など積極的に参加を促し、交流に努めている。   |      |                   |

| 自己                           | 外部  | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|------------------------------|-----|--|---|------|-------------------|
|                              |     |  | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |  |   |      |                   |
| 15                           |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 相談の段階から、本人との関係を築けるように努めている。                               |      |                   |
| 16                           |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | 相談の段階から、家族との関係を築けるように努めている。                               |      |                   |
| 17                           |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | 相談を受けた時点で入所を優先とせず、本人の現状を確認し、「今、何が必要か」を見極めた対応に努めている。       |      |                   |
| 18                           |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | 職員は「生活を共にする仲間」の思いを持ちながら、「頼り、頼られる」関係を大切にして支援を行っている。        |      |                   |
| 19                           |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | 職員は家族の思いを受け止めながら、家族と共に利用者の生活を考えるように努めている。                 |      |                   |
| 20                           | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | 利用者馴染みの関係性を理解し、本人の望む支援を可能な限りおこなっている。(自宅訪問や自治会への参加、お墓参りなど) |      |                   |
| 21                           |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず、利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                 | 一人ひとりの個性を見極め、利用者同士の関係作りにも努めている。                           |      |                   |

| 自己                                 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|------------------------------------|------|--|--|------|-------------------|
|                                    |      |  | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | 長期入院等でサービス利用(契約)が終了しても、本人や家族の必要に応じて、支援を継続するように努めている。                             |      |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |  |      |                   |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 日頃から会話や行動の中から、一人ひとりの思いや意向をくみ取る努力をしている。また、職員間でも情報を共有しながら把握に努めている。                 |      |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 得られた個人情報だけでなく、日々の暮らしの中で、「その人らしさ」を生かせるように取り組んでいる。                                 |      |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 日頃から一人ひとりの生活を把握しながら、本人が望む生活が過ごすことが出来るように努めている。                                   |      |                   |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 日々の生活の中で、本人、ご家族の思いを汲み取りながら、介護計画を作成している。毎月モニタリングをして、状態の変化等に応じての見直しなども速やかにおこなっている。 |      |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 個別記録や業務日誌だけでなく、毎朝の全体申し送り時に気づきや話し合いなどを実践や介護計画に活かしている。                             |      |                   |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | 一人ひとりのニーズに対し、柔軟且つ最大限に取り組むように努めている。   |      |                   |

| 自己評価 | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|------|------|---|--|------|-------------------|
|      |      |   | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29   |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | 本人の意向を取り入れながら、関係機関等と協力しながら、取り組んでいる。  |      |                   |
| 30   | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                  | 協力医療機関との連携を図り、本人、家族の要望に柔軟に対応するように努めている。  |      |                   |
| 31   |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 協力医療機関との連携を取りながら、医療面、健康面も相談も日頃よりおこなっている。   |      |                   |
| 32   |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 医療機関と連携を図りながら、その時に応じた支援をおこなっている。   |      |                   |
| 33   | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | 入所の段階より重度化、終末期について家族や利用者の思いを踏まえて話し合いをおこなっている。また、日頃よりご家族とも、状態変化時の対応等についても話し合うようにしている。 |      |                   |
| 34   |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | 年一回、救急蘇生法の訓練をおこなっている。  |      |                   |
| 35   | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている  | 年二回、防災避難訓練を実施している。また、災害等に備え、備蓄品の確保をしている。   |      |                   |

| 目<br>次                           | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|----------------------------------|------|--|--|------|-------------------|
|                                  |      |  | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |  |  |      |                   |
| 36                               | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                   | 常に、利用者一人ひとりの人格を尊重し、プライバシー確保にも努めている。  |      |                   |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | 日頃より、入所者が思いや希望を表しやすい雰囲気大切に、声かけや支援をおこなっている。   |      |                   |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 日々の日課はなく利用者、一人ひとりが「自分らしさ」を大切にできる声かけや支援に努めている。  |      |                   |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 本人の意向を取り入れながら、おしゃれや身だしなみを支援している。理容においても、馴染みの理髪店を利用したり、地元理容店へ訪問理容を依頼している。希望があれば、スタッフが理容や白髪染めをおこなっている。 |      |                   |
| 40                               | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | 生活を楽しむひとつとして、食材の下ごしらえなど無理なく楽しみながら行えるように努めている。また、「頼り、頼られる」関係を大切に声かけや支援をしている。                          |      |                   |
| 41                               |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | 食事チェック表をもとに、一人ひとりの食事の状態を把握して支援をおこなっている。  |      |                   |
| 42                               |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                   | 口腔チェック表をもとに、一人ひとりの口腔の状態を把握して、支援をおこなっている。   |      |                   |

| 目<br>次 | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|--------|------|---|--|------|-------------------|
|        |      |   | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43     | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                              | 排泄チェック表で一人ひとりの排泄の状態を把握し、支援をおこなっている。                                      |      |                   |
| 44     |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる  | 排泄チェック表にて一人ひとりの排便の状況を把握して支援をおこなっている。また、毎朝、ラジオ体操も行い、適度な運動にも心がけている。        |      |                   |
| 45     | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている                        | 入浴日を決めておらず、一人ひとりの希望に応じて支援をしている。  |      |                   |
| 46     |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している   | 一人ひとりの就寝のリズムに合わせ、支援をおこなっている。   |      |                   |
| 47     |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている  | 内服ファイルを作成し、一人ひとりの内服状況を確認している。服薬確認の為、チェック表を活用し、変更などあった場合も、その都度報告、確認をしている。 |      |                   |
| 48     |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                             | 日々の生活の中で、「本人らしさ」を引き出せるようような声かけや支援に努めている。                                 |      |                   |
| 49     | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 一人ひとりの要望を汲み取りながら、外出の支援をおこなっている。また、家族や本人の希望があれば、冠婚葬祭等の付き添い支援もおこなっている。     |      |                   |



| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|----|------|--|---|------|-------------------|
|    |      |  | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 一人ひとりの要望に応じて支援をおこなっている。また、家族の要望などがある場合、事務所や職員で管理をおこなっている。 |      |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | 家族や知人等との連絡など歓迎し、連絡しやすい雰囲気づくりに努めている。                       |      |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | レイアウトにも季節感や生活感を取り入れて、利用者が心地よく過ごせるように努めている。                |      |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | 一人ひとりの空間づくりも大切に、こたつやソファの配置等にも配慮している。                      |      |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | 一人ひとりが自分の居室を、気持ちよく過ごせるように、それぞれが工夫をできるように努めている。            |      |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している   | 一人ひとりのできる力を生かせるような工夫や環境作りに努めている。                          |      |                   |